

韓国民画には日本文化のルーツがいっぱい

「鯉（こい）のぼりってそもそもどうしてコイなの？」「月のうさぎはなぜもちをつくの？」「鳳凰（ほうおう）ってオス、それともメス？」「漫画でドラゴンボールを必死に探す訳は？」こんな疑問を持った方はいらっしゃいませんか？普段日本的だと思っていたことが、実は長いアジアとの関係から生まれたものたくさんあります。韓国の民画（生活画）は、それらの意味を視覚的に表現しているのです、分かれると昨今大ブームの韓国ドラマや韓国人の心情を深く理解できるでしょう。韓国人の父と日本人の母を持ち、両国で教育を受けた民画家の講師が、通訳歴30年の経験も交え、国際交流・文化交流の大切さ、楽しさをお話します。

日時：4月7日（土） 13:30～15:30
場所：さいたま市国際交流センター
（浦和駅東口 コムナーレ9階 パルコ上）

▶お申し込み・問い合わせ

(財)さいたま市国際交流協会
 電話/FAX 048-887-1506
 E-mail mail@saga-saitama.or.jp



躍鯉図



花鳥図 鳳凰



現代民画 蓮華の家

講師：牛尾 恵子氏

韓国 西江大学国語文学科を卒業後、東京デザイナー学院卒。外務省を中心とした政府要人、日韓交流事業などに従事。現在、NPO法人「日中韓から世界へ」代表理事。

【ミニ講座申込用紙】※お電話・メールでのお申し込みも承っております。申込期限：4月6日（金）

氏名		電話番号 (携帯優先)	
住所	〒	その他	